

こんにちは **かわら版** 井出せつおです

発行 日本共産党佐久市議会議員
井出節夫 佐久市臼田 2044-3
2013.11.17 No.127
TEL 82-2736 FAX 82-3000
Fb; <http://www.facebook.com/setsuo.id>

佐久市の焼却灰は何処へ？ 委託先の民間業者が受入れ停止 クリーンセンター議会で一般質問

佐久市の可燃ごみの焼却灰の最終処分場は、現在、小諸市にある民間の最終処分場（㈱フジコーポレーション）に委託してあります。本年7月に、同社が来年3月までで焼却灰の受入れを停止すると申入れがありました。

10月29日の佐久市・軽井沢町清掃施設組合議会（略称クリーンセンター議会）でこの問題を取り上げ、一般質問しました。組合では突然の受入れ停止であり、委託先を捜しているとのことでした。私は、以前から最終処分場の民間委託の危うさを指摘してきました。一般廃棄物は「自区内処理」が基本です。自前の最終処分場を確保すべきだと提案しましたが、柳田清二組合長からは前向きな答弁は聞かれませんでした。この施設の焼却灰は「特別管理廃棄物」となっており、委託先も限られています。その上、放射性セシウムが500ベクレル前後であり、委託先探しに苦勞しているとのことでした。

合わせて、焼却灰の処分に多額の税金を使うのですから、ごみの減量化の推進、生ごみの資源化を提案しました。

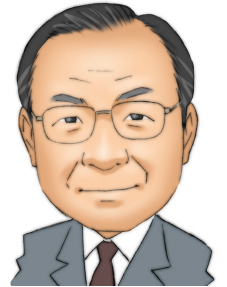
佐久市中の学校で自校給食をめざし 佐久城山小学校をモデル校に

佐久城山小学校の給食調理場が老朽化したことで整備計画が検討されています。ところが柳田市長は9月定例会の冒頭で突然「南部給食センターに統合」という方針を打ち出しました。地元のPTAを始め関係者は驚いています。

同小学校の自校給食は、内山小と平賀小の統合時の約束であり、地元の合意なしでの施策の転換は全く遺憾な行為です。国の学校給食に対する施策もセンター方式から自校方式に変わってきています。地元の合意はもとより、本来の学校給食のあり方を協議する場を設け、城山小の自校給食をモデルに佐久市内の小中学校の給食を順次自校方式にすべき時です。

佐久市農業祭が11月9日に駒場公園で開催されました。同時開催で大船渡市のさんま&ホタテ祭、食肉センターの食肉祭も行なわれました。

おりしもTPP交渉は農業分野での「聖域死守」が破られようとしています。日本人の主食であるコメに対する政策も減反廃止・補助金打切りなど突然の政策転換です。こんな強引なやり方がまかり通るのでしょうか。国民の知る権利を奪う特定秘密保護法案も審議が深まる中で危険性を暴露しています。安倍内閣は数の論理で何でも押し通そうとしています。しかし、「原発即時ゼロ」で小泉さんが吼えました。皆で政権を揺るがしましょう。



モンゴルから小中学生が研修に

佐久市と姉妹都市のモンゴル・ウランバートル市スフバートル区の子供達9名が研修に訪れました。臼田・平の運動公園の研修施設での宿泊やホームステイなど市内の子供達と交流を深めました。また、市内の文化財や公共施設を見学し、研修されました。



佐久市議会を訪問され、
で記念撮影をしました。

当面の日程

- 11月19日 議会運営委員会 12月議会へ
- 11月23日 比田井天来・小琴頭彰臨書展
- 11月24日 佐久民商・商工フェア
- 11月26日 12月定例市議会開会